

案 内

一般社団法人日本熱処理技術協会 第 102 回（2026 年秋季）講演大会・中部支部 30 周年記念行事 開催のご案内

第 102 回講演大会を、中部支部主催で 2026 年 11 月 18 日（水）、11 月 19 日（木）、11 月 20 日（金）の 3 日間、豊田工業大学「豊田喜一郎記念ホール」にて開催致します。今回、中部支部創設 30 周年記念行事として、「鉄鋼・熱処理技術が拓く新時代：中部地区での取り組み」をテーマとしたシンポジウム、「熱処理コンテスト」、「ねつ・が〜る」のこれまでの取り組み紹介、「トヨタ産業技術記念館見学会」などを企画しております。

春季講演大会と同様、完全オンサイト開催、初日夕刻には大懇親会も予定しておりますので、皆様奮ってご予定・ご参加いただきますようご案内申し上げます。

1. 第 102 回（2026 年秋季）講演大会・中部支部 30 周年記念行事 概要

- ①日程：2026 年 11 月 18 日（水）……講演大会，中部支部 30 周年記念行事，大懇親会
 11 月 19 日（木）……講演大会，中部支部 30 周年記念行事，シンポジウム
 11 月 20 日（金）……講演大会，午後は「トヨタ産業技術記念館見学会」

- ②会場：豊田工業大学 豊田喜一郎記念ホール（名古屋市天白区久方二丁目 12 番地 1）
 （最寄駅：名古屋市営地下鉄桜通線「相生山駅」から徒歩約 10 分）
<https://www.toyota-ti.ac.jp/>

③実施方法

- ・講演者は上記会場にて発表いただきます。
- ・聴講に関しても会場となります。Web 配信は行いません。
- ・トヨタ産業技術記念館見学会については定員制となります。

④「田村・川寄記念講演」＜11 月 18 日（水）＞

2020 年度の当協会「技術功績賞（林賞）」を受賞された船川氏に講演いただきます。

「熱処理の視点における薄鋼板中の析出物制御と特性変化」

JFE テクノリサーチ株式会社 取締役 モビリティ Division 長 船川 義正氏

自動車や家電製品に使用される薄鋼板は、圧延と熱処理で組織制御されている。微量元素の添加で大きく特性が変わることが鉄鋼製品の魅力である。この大きな変化を生み出す要因の一つに析出物がある。鉄鋼の析出物制御は工業製品として非常に重要な役割を果たしている。本講演では、低炭素鋼を対象に微量元素添加での薄鋼板の特性変化を述べる。

⑤「シンポジウム」＜11 月 19 日（木）＞

「鉄鋼・熱処理技術が拓く新時代：中部地区での取り組み」

鉄鋼・熱処理技術は、自動車をはじめとする中部地区の基幹産業を支える重要な要素技術であり、部品の高強度化、長寿命化、信頼性向上に不可欠な役割を果たしています。本シンポジウムでは、鉄鋼と熱処理の魅力を起点に、カーボンニュートラルを見据えた鉄鋼製造、真空浸炭浸窒炉の最新動向、複合熱処理による肌焼鋼の機械特性向上、軸受部品の高性能化を支える浸炭浸窒処理、耐熱チタン合金の開発など、材料・熱処理分野の先端的な取り組みを紹介します。中部地区に集積する産業技術と研究開発の知見を共有し、持続可能なものづくりと熱処理技術のさらなる発展につなげる機会として開催します。

I 基調講演

「鉄鋼と熱処理の魅力と面白さ ―感動は前進、満足は後退―」

九州大学 名誉教授／物質・材料研究機構 名誉フェロー

サステナビリティ技術設計機構 主幹研究員 津崎 兼彰先生

本講演の隠された主題は「それ、ホンマにおもしろい？」です。鉄鋼と熱処理に関わる全ての人々がワクワクしながら日々を過ごすためのヒントをお届けしたいと思います。具体的には次の話をします。(1) 好奇心の大切さとその円環、(2) マルテンサイトの素晴らしさと面白さ、(3) 高専マテリアルコンテストで発見した鉄鋼と熱処理そして人の魅力。

II 依頼講演

(1)「電気炉製鋼法による鉄鋼生産の現状とグリーンスチールのトレンド」

東京製鐵株式会社 総務部 総務課 係長 有賀 優氏

近年、鉄スクラップを主原料とした電気炉による鉄鋼生産プロセスは、脱炭素・資源循環の観点から大きな注目を集めている。本講演では、わが国内最大の電炉メーカーである東京製鐵における鉄リサイクルの取り組みと、国内外で需要が高まりつつあるグリーンスチールの最前線について説明する。

(2)「真空浸炭浸室炉の最新動向」

大同特殊鋼株式会社 機械事業部 熱処理設備部 熱処理設計室 主任部員 田村 和之氏

近年、カーボンニュートラルへの対応を背景に、熱処理設備は従来のガス燃焼式から電気加熱式の真空炉への転換が進んでいる。本講演では、真空熱処理炉および真空浸炭浸室炉を取り巻く最新動向について紹介するとともに、省エネルギー化や品質向上への取り組み、今後の技術展望について解説する。

(3)「真空浸炭と高周波焼入れの複合熱処理による肌焼鋼の機械特性」

株式会社アイシン 主席部員 岡田 一晃氏

本講演では、真空浸炭と二次加熱・焼入れを組み合わせた複合熱処理について、肌焼鋼の機械特性向上への適用事例を紹介する。浸炭による炭素濃度分布および前組織制御に加え、残留オーステナイトやセメンタイトの分布・形態が衝撃特性および曲げ疲労特性に及ぼす影響を整理する。

(4)「軸受の高性能化を支える熱処理技術～浸炭浸室処理とその効果～」

NTN 株式会社 主任 水田 浩平氏

転がり軸受の性能には、熱処理による材料組織の状態が影響を及ぼす。軸受の高性能化に広く用いられる浸炭浸室処理は素子の侵入および固溶などを利用した表面改質技術であり、疲労強度や耐摩耗性などが向上する。本発表では、軸受鋼および浸炭鋼に適用される浸炭浸室処理について概説するとともに、その性能向上事例を紹介する。

(5)「チタン合金の特徴と耐熱チタン合金の開発」

大同特殊鋼株式会社 ステンレス・高合金材料技術研究室 副田 凌雅氏

比強度に優れるチタン合金は航空機をはじめ幅広い分野で活用されている。本講演ではチタン合金の特徴と耐熱チタン合金の開発背景を概説するとともに、成分と熱処理条件の最適化により世界最高クラスの耐熱性を有し、日本で開発された耐熱チタンとして初めて AMS 登録を達成した耐熱合金 DAT54 を例に、その開発事例と技術的特徴について紹介する。

⑥中部支部 30 周年記念行事「熱処理コンテストの歩みとこれから」＜11 月 18 日（水）or 19 日（木）＞

コンテスト優勝者講演

(1) 鳥取県金属熱処理協業組合（とりねつ） 参与 馬田 秀文氏

(2) コマツ 生産本部 生産技術開発センター

パワートレイングループ 材料・熱処理チーム 棚原 健人氏

⑦中部支部 30 周年記念行事「ねつ・が～る講演企画」＜11 月 18 日（水）or 19 日（木）＞

(1) 旭千代田工業株式会社 品質保証部 水川 朋美氏

(2) 株式会社ジェイテクトサーモシステム 工業加熱装置部 中田 綾香氏

2. 一般講演および研究発表奨励賞対象講演（J-セッション）の募集

以下の要領で会員の皆様より広く研究発表講演を募集致します。

①講演申込み締切り：2026 年 9 月 24 日（木）17 時（厳守）

・お申込みいただいた講演題目は、原則として変更できませんのでご注意ください。

②講演内容：熱処理分野とその周辺技術を含めます。熱処理の原理・基礎，熱処理プロセスおよびシステム，それらに応用するための技術から，材質・製品の改良効果，表面改質などの機能特性向上ならびに装置，操業，経済問題などの産業活動に関する発表も歓迎します。なお，既発表のデータも，本論を補完するものならば含んでいても差し支えありません。

・講演分類は以下の通りです。

分類

- A：熱処理理論と組織
- B：強度，靱性，破壊，摩耗および腐食
- C：表面改質および表面硬化
- D：計測制御，試験方法および評価
- E：熱処理プロセス，設備，コンピュータ応用システム
- F：その他
 - ・新製品の開発，応用並びに経済問題，生産性，品質向上および現場技術
 - ・新素材，機能材料，各種の非鉄金属，セラミック，プラスチックなどの材料
 - ・金属加工，ショットピーニング，金属積層造形，接合技術 など

③講演時間：一般講演および研究発表奨励賞対象講演（J-セッション）ともに，発表 10 分，討論 5 分とします。

④講演申し込み方法

講演者（一般講演，J-セッション）は下記 URL または QR コードより事前申込み下さい。日本熱処理技術協会の HP 経由でも申込み可能です。

<https://forms.office.com/r/btni9XE2QD>



※講演申込みには本会会員番号（正会員または学生会員）が必要となりますので，非会員の方（学生を含む）は申し込み前に日本熱処理技術協会 HP より新規入会手続きをお願いします。

⑤講演概要集の原稿提出

日本熱処理技術協会 HP 掲載の執筆要領

https://jsht.or.jp/wp-content/uploads/2022/09/94kouen_shipitsu.pdf

を参照の上，フォント埋込み確認済の「PDF」ファイルを作成 e-mail に添付し，当協会に提出して下さい（jsht-honbu@jsht.or.jp）。この際，送付メールの件名は「第 102 回秋季講演大会」として下さい。

講演概要集原稿提出締切り：2026 年 10 月 16 日（金）17 時

なお，提出された原稿の著作権は，当協会に帰属します。

⑥研究発表奨励賞対象講演（J-セッション）の特記事項

当協会では，若手研究者および技術者の研究発表を奨励することを目的として 35 歳以下の優秀な発表者を表彰する「研究発表奨励賞」制度を設けています。

- ・応募資格：本会の正会員または学生会員であり，発表時の満年齢が 35 歳以下で，過去に本賞の最優秀賞を受賞していない発表予定者。
- ・応募方法：「J」セッションを選択し，生年月日を記入して下さい。
- ・講演発表と表彰：大会初日の J-セッションにて講演発表後，表彰選考委員会を開催し，受賞者の発表を行います。
- ・受賞者：最優秀賞 1 名以内
優秀賞 原則 2 名以内
- ・研究奨励金の支給：
 - 最優秀賞：下記の 2 つの活動各々に対し，完了後，支給申請があり，当該委員会で審議承認された場合，各々に対して研究奨励金を支給します。
 - 1) 講演発表内容の会誌「熱処理」への論文ないし解説の投稿（受賞後 3 年以内）
 - 2) 当協会が認める国際会議（受賞後 3 年以内に開催）への参加と報告（「熱処理」への投稿）
- 優秀賞：上記 1) の活動に対し，完了後，支給申請があり，当該委員会で審議承認された場合，研究奨励金を支給します。

3. 聴講参加申し込み

- ①聴講参加者は下記 URL または QR コードより事前申込み下さい。日本熱処理技術協会の HP 経由でも申込み可能です。
申し込みサイト（見学会参加を含む）は 2026 年 9 月 8 日（火）より受付を開始致します。

<https://forms.office.com/r/jeSS5kr7i8>



聴講参加申込み締切り：2026 年 10 月 30 日（金）17 時

※講演申込み者（一般講演、J-セッション）は手続き不要です。

- ②参加費は以下の通りです（講演申し込み者も同額；参加費には講演大会概要集 1 冊分を含む）。

申し込まれた方には、請求書を e-mail に添付し 10 月以降順次送付します。

参加者には当日受付にて参加証と概要集をお渡しします。

また講演大会前 1 週間を目途に、概要集のダウンロード要領を案内の予定です。

- ・正会員、維持会員企業の方：7,000 円（税込）
- ・非会員：10,000 円（税込）
- ・学生会員：2,000 円（税込）
- ・学生非会員：5,000 円（税込）

- ③大懇親会：大懇親会参加の方は、参加申し込みと同様、上記 URL または QR コードより事前申込み下さい。

日時…大会第 1 日目夕刻（18:00～20:00 を予定）

会場…豊田工業大学食堂（西（W）棟（図書館）2 階）

参加費（一般 5,000 円、学生 2,000 円。税込）

- ④トヨタ産業技術記念館見学会：見学会参加の方は、参加申し込みと同様、上記 URL または QR コードより事前申込ください（定員あり）。

日時：2026 年 11 月 20 日（金）13:30～17:00（予定）

定員：80 名

参加費：1,000 円 / 人（入場料含む：税込み）

・訪問先 トヨタ産業技術記念館（愛知県名古屋市則武新町 4-1-35）

・予定スケジュール：13:30 豊田工業大学 出発 バス移動

14:30 トヨタ産業技術記念館 見学（2 時間程度を予定）

16:30 バス移動 17:00 頃 JR 名古屋駅解散

4. 企業等技術情報展示会の出展募集

講演大会開催期間中、講演会場に併設される会場で「企業技術情報展示会」を行います。熱処理技術に関連する材料・副資材・設備・試験機器・計測制御装置・FA 装置・生産システム・シミュレーション技術など、広く最新の技術情報をご紹介・アピールして下さるよう、関係各社のご参加・ご協力をお願い致します（維持会員以外の企業も歓迎致します）。

展示各社には A4 サイズ 1 枚の紹介資料を作成いただき、参加者に配布させていただきます。

また、講演会場での紹介発表時間も設けさせていただく予定です。

（ア）展示会日時：2026 年 11 月 18 日（水）、11 月 19 日（木）10～16 時

（イ）場所：豊田工業大学「豊田喜一郎記念ホール」オープンスペース

（ウ）展示台：テーブル、パネルを立て掛けるパーティションと電源コードを準備します。

（エ）費用：1 展示あたり、33,000 円（税込み）

（オ）**申込み締切り：2026 年 10 月 16 日（金）17 時**

（カ）申込み方法：下記 URL または QR コードより申込み下さい。日本熱処理技術協会の HP 経由でも申込み可能です。

<https://forms.office.com/r/p6VALBQw9t>

